

PAT-NO : JP406054603A

DOCUMENT- IDENTIFIER : JP 06054603 A

TITLE : SOWING SHEET

PUBN-DATE : March 1, 1994

INVENTOR- INFORMATION :

NAME

DEYAMA, HARUO

ASSIGNEE- INFORMATION :

NAME

KK KIYODOUSHIYA

DEYAMA HARUO

COUNTRY

N/A

N/A

APPL-NO : JP04213402

APPL-DATE : July 17, 1992

INT-CL (IPC) : A01C001/04

US-CL-CURRENT: 47/56

ABSTRACT:

PURPOSE: To produce a sowing sheet excellent in germination of seeds and free from growth of weeds by putting films made of a plant fiber in layers, arranging seeds in its inside and forming a black layer on the upper surface and/or the lower surface.

CONSTITUTION: Seeds 16 are buried and arranged leaving a space in the inside of a sheet 12 composed of many thin film layers 14 made of a plant fiber. A black layer 18 is formed on the lower surface of the sheet so as to screen light. Thereby, growth of weeds can be prevented.

COPYRIGHT: (C)1994, JPO&Japio

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) **公開特許公報 (A)**

(11)特許出願公開番号

特開平6-54603

(43)公開日 平成6年(1994)3月1日

(51)Int.Cl.
A 01 C 1/04

識別記号 庁内整理番号
A 8502-2B

F I

技術表示箇所

審査請求 有 請求項の数7(全4頁)

(21)出願番号 特願平4-213402

(22)出願日 平成4年(1992)7月17日

(71)出願人 592173548

株式会社共同社

東京都墨田区両国2丁目20番12号

(71)出願人 592156714

出山 春男

千葉県鎌ヶ谷市東初富4-25-16

(72)発明者 出山 春男

千葉県鎌ヶ谷市東初富4丁目25-16

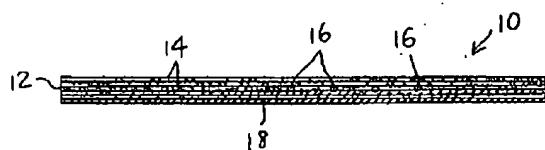
(74)代理人 弁理士 石原 詔二

(54)【発明の名称】 播種シート

(57)【要約】

【目的】 播種シートを畑等にセットした際に、該播種シート内の種子のみを発芽させ、雑草の発芽、成長を阻止するようとする。

【構成】 植物纖維からなるフィルム層を多重にしてなるシート本体内に種子を配列して被覆埋設し、該シート本体の上面及び/又は下面に黒色の崩壊樹脂シートあるいは黒色層を形成するようにした。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 植物繊維からなるフィルム層を多重にしてなるシート本体内に種子を配列して被覆埋設し、該シート本体の下面に黒色層を形成したことを特徴とする播種シート。

【請求項2】 前記黒色層の下面に除草剤を塗布したことを特徴とする請求項1に記載の播種シート。

【請求項3】 前記黒色層がカーボンからなることを特徴とする請求項1又は2に記載の播種シート。

【請求項4】 前記黒色層として前記シート本体の下面を黒色に染色したことを特徴とする播種シート。

【請求項5】 植物繊維からなるフィルム層を多重にしてなるシート本体内に種子を配列して被覆埋設し、該シート本体の上面に該種子部を除く部分に黒色の崩壊樹脂シートを被覆したことを特徴とする播種シート。

【請求項6】 植物繊維からなるフィルム層を多重にしてなるシート本体内に種子を配列して被覆埋設し、該シート本体の上面に該種子部を除く部分に黒色の崩壊樹脂シートを被覆し、かつ該シート本体の下面に黒色層を形成したことを特徴とする播種シート。

【請求項7】 前記黒色層の下面に除草剤を塗布したことを特徴とする請求項6に記載の播種シート。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、農作業、緑化や草花等の造園作業の際に用いられる播種シートの改良に関するものである。

【0002】

【従来の技術】最近、農作業や緑化、草花、造園作業の際に種子を原野及び公園、緑地帯、農地等に直に播かず、植物繊維からなり薄いフィルム状シートを多重の層にして、該種子を配列被覆した播種シートが多く用いられるようになっている。

【0003】この播種シートは、種子の種類により適宜間隔を開けて配列されているため、従来の種蒔きにおいて、発芽してから所定間隔に間引きする手間が大幅に減少するという利点を有するものである。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかし、この従来の播種シートにおいては、単に植物繊維からなるシート本体に種子を埋設しているだけであり、これをそのまま使用して種子が発芽する以前に、該播種シートの下から雑草も生え、種子の発芽に被害を与えている。また、除草しなければならないという問題を有している。

【0005】本発明は上記課題に着目してなされたものであって、雑草が生えてくるのを阻止することができ、種子の発芽を良くするようにした播種シートを提供することを目的とするものである。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するため

2

本発明は、植物繊維からなるフィルム層を多重にしてなるシート本体内に種子を配列して被覆埋設し、該シート本体の下面に黒色層を形成したり、植物繊維からなるフィルム層を多重にしてなるシート本体内に種子を配列して被覆埋設し、該シート本体の上面に該種子部を除く部分に黒色の崩壊樹脂シートを被覆したり、又は、植物繊維からなるフィルム層を多重にしてなるシート本体内に種子を配列して被覆埋設し、該シート本体の上面に該種子部を除く部分に黒色の崩壊樹脂シートを被覆し、かつ該シート本体の下面に黒色層を形成した播種シートとした。

【0007】前記黒色層としては、カーボン層であってもよく、またシート本体の下面を黒色に染色するようにもよい。

【0008】また、前記黒色層の下面に除草剤を塗布するようにしておけば、確実に雑草が生えてくるのを防止することができる。

【0009】崩壊樹脂シートとしては、紫外線により2～3ヶ月後に分解されるような材質のものであればよく、例えば、ポリエチレンとデンプンとからなるシート等が挙げられる。

【0010】

【作用】このように種子(16)が埋設されたシート本体(12)の下面に黒色層(18)を形成するようすれば、該種子(16)のみが発芽するが、シート本体(12)の下面の黒色層(18)によってその下の地面は光が遮られるので、雑草は生えにくくなり、また、該シート本体(12)の上面に崩壊樹脂シート(20)を形成するようにも同様に種子(16)のみが発芽し、2～3ヶ月後には該崩壊樹脂シート(20)が崩壊する。

【0011】

【実施例】以下、本発明を添付図面に示す実施例に基づいて詳細に説明する。図1～図3は本発明に係る播種シート(10)の第1実施例を示すもので、該播種シート(10)は、植物繊維からなる多数の薄いフィルム層(14)からなるシート本体(12)を有している。

【0012】該シート本体(12)の厚さは、種子の種類によって大きさが異なることからその厚さも適宜異なる。そして、該種子(16)は前記フィルム層(14)を多重に重ねていく段階で、被覆するようにして埋設する。該種子(16)の配列は図2に示されるように、該種子(16)の植物の種類により適宜間隔を開けて配列埋設する。

【0013】前記シート本体(12)の下面には、雑草の発芽防止用の黒色層(18)が形成されている。すなわち、該黒色層(18)は従来の農作業等に使用されているビニール製のマルチシートの役目を果たすものである。

【0014】該黒色層(18)としては、例えば、カ-

3

ポン等で形成すると、土にも馴染むので好ましいが、これに限らず、シート本体(12)の下面を黒色の染料で染めるようにしてもよい。

【0015】このように種子(16)が埋設されたシート本体(12)の下面に黒色層(18)を形成するようにすれば、該種子(16)のみが発芽するが、シート本体(12)の下面の黒色層(18)によってその下の地面は光が遮られるので、雑草は生えにくくなる。さらに、該黒色層(18)の下面に除草剤を塗布するようにすれば、確実に雑草が生えてくるのを阻止することができる。

【0016】図3は本発明に係る播種シート(10)の第2実施例を示すものであって、前記シート本体(12)の上面に黒色の崩壊樹脂シート(20)を被覆した例を示したものである。該崩壊樹脂シート(20)は前記黒色層(18)と同様の機能を果たすものである。また、シート本体(12)の下面に除草剤を塗布するようにしていよい。

【0017】該崩壊樹脂シート(20)としては、紫外線により2~3ヶ月後に分解されるような材質のものであればよく、例えば、ポリエチレンとデンプンとからなるシート等が挙げられる。この崩壊樹脂シート(20)には、種子(16)が発芽して伸びやすいように発芽孔(22)が配列埋設された該各種子(16)の上部位置となるように形成されている。該発芽孔(22)としては、図3に示すように透孔でもよく、また、図4に示すようにX印状の切欠きであってもよい。

【0018】図5はさらに本発明に係る播種シート(10)の第3実施例を示すものであって、前述した第1実施例と第2実施例とを組み合わせたものである。すなわち、シート本体(12)の下面には黒色層(18)を形成し、かつ上面には崩壊樹脂シート(20)を被覆したものである。従って、シート本体(12)の上面及び下

4

面に光を遮る手段を設けるようにしているので、いずれか一方が破損しても確実に光を遮るので雑草は生えにくくなる。

【0019】この第3実施例のシート本体(12)の下面に形成された黒色層(18)の下面に前述と同様に除草剤を塗布しておけば、雑草の成長を完全に阻止するので好ましい。

【0020】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、種子が配列埋設されたシート本体の上面及び/又は下面に黒色の崩壊樹脂シートや黒色層を形成するようにしたので、種子のみが発芽成長するが、雑草は光を遮られているので発芽、かつ成長を阻止することができ、農作業あるいは園芸作業において雑草を取る手間が必要でなくなるという特有の効果を奏するものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る播種シートの第1実施例を示す断面図である。

【図2】図1における平面図である。

【図3】本発明に係る播種シートの第2実施例を示す断面図である。

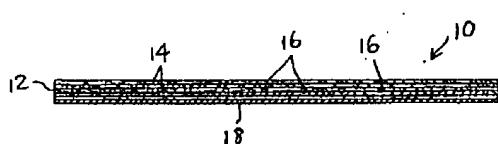
【図4】崩壊樹脂シートに形成された発芽孔の他の実施例を示す平面図である。

【図5】本発明に係る播種シートの第3実施例を示す断面図である。

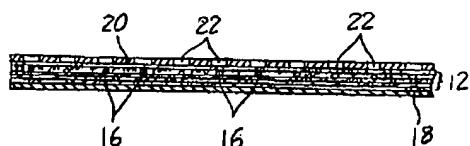
【符号の説明】

10	播種シート
12	シート本体
14	フィルム層
16	種子
18	黒色層
20	崩壊樹脂シート
22	発芽孔

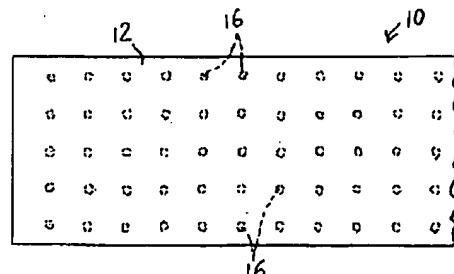
【図1】



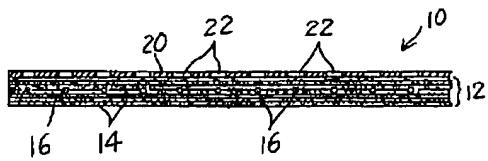
【図5】



【図2】



【図3】



【図4】

